

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：心不全患者におけるマルチモビディティと身体機能の関連性の検討

研究期間：2025 年 5 月 1 日～2025 年 8 月 31 日

対象材料：

☐病理材料（対象臓器名：_____）

□生検材料（対象臓器名

☐血液材料☐ 游離細胞

■その他（診療録の情報）

上記材料の採取期間： 2023年2月 ～ 2025年1月

意義：心不全患者は高齢化に伴い多くの慢性疾患を抱えることが多く、身体機能や予後に影響を及ぼすと報告されている。一方で慢性疾患の保有数と身体機能がどのように関連し予後に影響するかは明らかではない。入院中の高齢心不全患者における慢性疾患保有数と身体機能が全死亡リスクに与える影響を明らかにすることで、心不全患者の疾病管理および身体機能向上のためのリハビリテーションの一助となる可能性がある。

目的：高齢心不全患者における慢性疾患保有数と身体機能が全死亡リスクに与える影響を明らかにすること。

方法：入院後、電子カルテおよび診療・治療上の検査・測定、問診によって得られた研究対象者の下記各種データを収集し、データ登録を行う。

①基本情報：年齢、性別、Body Mass Index（以下 BMI）

②医学的情報：診断名、入院時 NYHA 分類、入院時 CS、入院時生化学検査データ（Hb、TP、CRP、Alb、e-GFR、Cre、NTproBNP）、栄養指標（以下 GNRI）、心臓超音波検査データ、MAGGIC risk score、併存疾患

③理学療法評価：退院時の身体機能評価（Short Physical Performance Battery（以下 SPPB）、握力、歩行速度、下腿周径、上腕周径）

④認知機能評価：長谷川式簡易認知機能評価

⑤予後調査：カルテより全死亡の有無を調査する

⑥統計的検定方法

- SPPB が 10 点以上、未満、慢性疾患数が 3 つ以上、未満の組み合わせで 4 群に群分けする
- 4 群について、Kaplan-Meier 曲線、log-rank 検定を実施する。
- 全死亡を従属変数とし、独立変数として SPPB 合計点、慢性疾患数、MAGGIC risk score、HDS-R 得点、NTproBNP を投入した Cox 比例ハザード分析を行う。

個人情報の取り扱い：

個人情報に関しては集計データを連結不可能匿名化し、個人が特定されない配慮を行う。関連学会に発表する場合があるが、その際も個人が特定される事はない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

$$\overline{750-8520}$$

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 理学療法士 水野博彰

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838